

第1号報告

令和3年度 事業計画

1. 通常総会

令和3年(2021年)5月28日(金) オンライン形式にて、第62回通常総会を開催する。

2. 理事会

理事会は原則として年6回以上開催する。

3. 委員会

[常設委員会]

常設委員会は以下のとおりで、委員会は必要に応じてその都度開催する。

- ・ 総務委員会
- ・ 会誌編集委員会
- ・ シンポジウム実行委員会
- ・ PCサステナビリティ委員会
- ・ PC技術規準委員会
- ・ PC鋼材委員会
- ・ PC技術講習会委員会
- ・ PC技士委員会
- ・ コンクリート構造診断士委員会
- ・ 国際委員会
- ・ PC工学会賞選考委員会
- ・ 公募研究課題選定委員会
- ・ PCアーカイブス委員会

4. 調査研究・資料収集事業

(1) 規準作成

1) PC技術規準委員会

委員会を2回開催する予定である。規準改訂に関して、活動が3年目となる「PC斜張橋・エクストラドーズド橋設計施工規準(2009年2月)」の改訂小委員会(平成30年度～)は、原稿(案)の校正を行い、改訂規準発刊および講習会の開催を8月に予定している。また、PC橋プレキャスト工法技術規準作成小委員会(令和元年度～)は、PC橋における生産性向上を目的として、さらなるプレキャスト化を推進するために具体的な設計・施工方法を明らかにするとともに、工期短縮などによる社会便益の増加なども含めた規準作成をすすめ、委員会を2回、幹事会を7回程度開催する予定である。

2) P C 鋼材委員会

既設構造物の維持管理・点検ならびに新設構造物の長期耐久性確保や将来の点検コスト低減等を目的として、P C ケーブルにおいては点検調査・モニタリングが可能な工法・装置等の要求が高まっている。前年度の張力計測技術の調査継続に加え、腐食や破断判定等のP C ケーブルの損傷調査技術について最新情報を収集し、その活用促進を図ることで、P C ケーブルの健全性向上につなげる提案を行う。また、P C 鋼材に関連する国内外の基規準類の改定に関して情報収集を行い、国内外の学会・委員会等に参画する本委員会委員からの情報提供に基づき、基規準類への本委員会意見の反映を図る。委員会を2回開催する予定である。

(2) 公募研究

1) 浜松町駅旅客ホーム上家調査委員会（仮称）

1954年竣工の日本最古のP C 建築物である「浜松町駅旅客ホーム上家」が令和3年2月に解体された。旧国鉄の建築物として初めてP C 構造が採用、建設されたものである。委員会では、67年間の役目を終える建築物の健全性を調査し、記録として残すことで調査事例が非常に少ないP C 建築物の耐久性に関する資料を蓄積するとともに、調査結果から100年超長寿命建築の可能性について検討し、実現するための留意点や新たな課題等を挙げる。2か年にわたって活動する予定である。

(3) 受託研究

1) 連続繊維補強材のP C 構造物への適用に関する委員会

昨年度に本委員会で作成した「繊維強化ポリマー（FRP）のコンクリート構造物への適用に関する設計・施工指針」を刊行しており、本年度は本指針の英文化を目指す予定である。この英文化作業に関する幹事会を2回開催する計画である。

2) 既設ポストテンション橋の再生・補修・補強検討委員会

変状の発生およびそのおそれがある既設P C ポストテンション橋の診断および対策の方法に関する技術指針を令和3年度内に作成することを目的に、委員会2回、幹事会4回を開催する計画としている。なお、作成した技術指針については、令和3年度中に講習会を開催する予定としている。

(4) P C サステナビリティ委員会

サステナビリティ宣言に基づく本工学会の今後の活動について議論を進める予定である。広報活動および継続的な見直しを目的として、本工学会主催行事の中でアンケート調査を実施していく予定である。

(5) PCアーカイブス委員会

5月末にPCアーカイブス冊子「PCの先駆者たち（人物編）・（企業編）」を発行する。本工学会WebサイトのPCアーカイブスに収集できた資料を定期的に更新するとともに、そのメンテナンスおよび資料収集を継続的に活動する体制を構築する。アーカイブ化の企画活動を順次進めていくため、委員会1回、幹事会およびWGを計5回程度開催する予定である。

(6) 国際活動

1) *fib* 関連活動

総会、理事会、最高幹部会および各研究委員会に参加して、*fib* の重要な行事の企画、立案、運営、調査、研究活動に参画する。

2) *fib* シンポジウム

次のシンポジウムは、2021年6月13日～16日にポルトガルのリスボンで開催され、本学会員の参加と情報発信に努める。

3) その他の国際対応

「PC工学会の国際化を進めるための企画・提言を行うこと、ならびに日本のPC技術を海外へ情報発信すること」を目的に、以下の活動を行う。

①工学会英文ホームページの更新

②海外学協会との連携についての検討

③日本のPC技術の海外普及策等についての検討

・規準類の英語化ならびに海外への普及についての検討

・PCシンポジウムの国際化についての検討

④ *fib* Commission 1, *fib* Commission 5に参加

⑤ベトナムITSTとのワークショップの開催（2021年10月、ハノイ）

⑥ミャンマーとの技術交流の計画および開催

⑦PCシンポジウムの海外からの特別講演者招聘計画および対応（Prof. Flattを予定）

⑧上記特別講演者を交えたセミナーの計画および開催

⑨PC技術講習会テキストの作成および講習会講師

(7) 会誌等発刊

1) 会誌

会誌は一般号および特定課題による特集号を、会誌編集委員会にて企画・編集を行い、計6回発行する。第63巻4号、6号、第64巻2号は特集号とする。63巻4号は「建築特集」、63巻6号は「東日本大震災から10年」をテーマに予定する。

2) ナショナルレポート

2022年6月にオスロ（ノルウェー）で開催される第6回 *fib* コングレスに向けて、日本を代表するコンクリート構造物を広く海外へ紹介するための冊子「National Report of Japan on Structural Concrete -The 6th International *fib* Congress 2022」を編纂するため、ナショナルレポート編集委員会を開催する。

5. 講習会等事業

(1) 技術講習会

[PC技術講習会]

昨年6月に全国9会場（東京，札幌，仙台，新潟，名古屋，大阪，広島，高松，福岡）で開催を予定していた第48回PC技術講習会は，新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため，開催中止となり，改めて本年6月にオンライン形式(オンデマンド配信期間 6月7日(月)～6月21日(月))で開催する予定である。

(2) プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム

「第30回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム」は，令和3年10月21日(木)・22日(金)の2日間にわたり，「函館市民会館」および「函館アリーナ」(北海道函館市)において開催する。実行委員会および各WGは，開催の準備，運営を行う。

その後，第31回シンポジウムは「くにびきメッセ」(島根県松江市)(予定)において令和4年10月27日(木)・28日(金)に開催する予定であり，その企画を行う。また，令和5年に東北地区での開催が決まっており，シンポジウム実行委員会で開催会場を選定する。

(3) 研修セミナー

1) 「PC斜張橋・エクストラドーゾド橋設計施工規準改訂版」の発刊に伴うセミナー

PC技術規準委員会所管PC斜張橋・エクストラドーゾド橋設計施工規準改訂小委員会が策定する「PC斜張橋・エクストラドーゾド橋設計施工規準改訂版」の発刊に伴うセミナーを東京，大阪において8月に開催する予定である。

2) 「既設PCポストテンション橋保全技術指針(仮称)」の発刊に伴うセミナー

既設ポストテンション橋の再生・補修・補強検討委員会が策定する「既設PCポストテンション橋保全技術指針(仮称)」の発刊に伴うセミナーを東京，大阪および福岡において令和3年度下半期に開催する予定である。なお，社会情勢を考慮して開催方法を変更する可能性がある。

6. 資格認定事業

(1) プレストレストコンクリート技士資格制度

PC技士委員会，各小委員会を開催して，講習会，試験から登録，研修に至るまでの諸準備を行う。

1) プレストレストコンクリート技士試験講習会

標記講習会を令和3年9月6日(月)から9月13日(月)までの期間，オンライン形式(オンデマンド配信)にて開催する。

2) プレストレストコンクリート技士試験

標記試験を令和3年10月17日(日)に東京：芝浦工業大学(芝浦キャンパス)，大阪：YMC A国際文化センター，福岡：天神ビルの3会場において実施する。

3) プレストレストコンクリート技士の登録

プレストレストコンクリート技士試験合格者の登録，ならびに登録有効期間（4年間）満了となる資格者の申請により登録更新を行う。また，登録失効者に対しては，講習会の受講によって再登録を行う。

(2) コンクリート構造診断士資格制度

コンクリート構造診断士委員会，各小委員会を開催して，講習会，試験から登録，研修に至るまでの諸準備を行う。

1) コンクリート構造診断技術講習（eラーニング）

コンクリート構造診断士試験に先立ち，Web上でのeラーニング講習（任意）を行う。eラーニングでの講習期間は3月1日から7月10日である。

2) コンクリート構造診断士試験

標記試験を令和3年7月11日（日）に東京：芝浦工業大学（芝浦キャンパス），大阪：YMCA国際文化センター，福岡：福岡朝日ビルの3会場において実施する。

3) コンクリート構造診断士の登録

コンクリート構造診断士試験合格者および資格更新者の登録を行う。今年度は，2017年度（平成29年度）登録者の資格更新研修を実施する。研修方法は，Web上でのeラーニング講習を行う。

7. プレストレストコンクリート工学会賞授与事業

プレストレストコンクリート工学会賞選考委員会にて，論文賞，作品賞，技術開発賞および施工技術賞の授賞候補を選考し，通常総会にて授与する。